

生命化学科

教職コースの受講許可を受けた学生は『教職課程受講ガイド』を参照してください。

カリキュラムの特徴

1 生命化学科科目群には、必修科目、選択科目があります。

必修科目（講義・実験・演習）

生命化学科で学ぶ上で最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。

選択科目

各自の必要に応じて履修する科目

（生物資源学科科目群・生物環境システム学科科目群・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 領域配属（教職コースを除く）

生命化学科には、「生物化学領域」「食品機能化学領域」「細胞制御化学領域」「環境化学領域」の4領域があります。第7セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

- (1) 第6セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。
- (2) 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数は改めて連絡します。
- (3) 第5セメスター以降に担任が領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細は改めて連絡します。

卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群から6単位以上を含み、合計20単位以上（必修科目を含む）を修得していること
- ③ 生命化学科科目群の必修講義科目30単位（必修選択科目2単位を含む）を修得していること
- ④ 生命化学科科目群の必修科目の実験・実習・演習科目（「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業論文」を除く）19単位を修得していること
- ⑤ 生命化学科で開講されている選択科目22単位以上を修得していること
- ⑥ 「卒業研究Ⅰ」4単位、「卒業研究Ⅱ」4単位、「卒業論文」2単位を修得していること
- ⑦ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ⑧ 上記要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

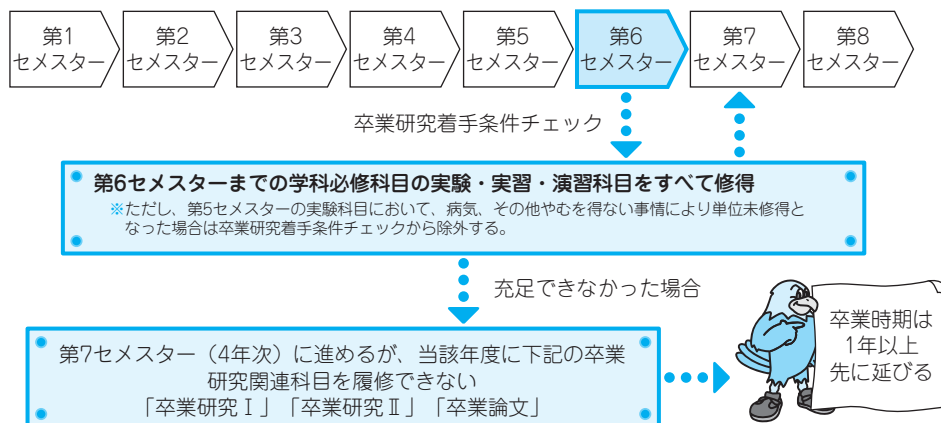
卒業に必要な最少単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生命化学科の場合その内訳は次のとおりです。


ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群	7単位
人文科学科目群	4単位以上
社会科学科目群	4単位以上
自然科学科目群	4単位以上
学際科目群	2単位以上
言語表現科目群	6単位以上
	合計20単位以上
生命化学科必修科目	
必修講義科目	30単位（必修選択科目2単位を含む）
必修実験・実習・演習科目	29単位（「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」、「卒業論文を含む）
選択科目	
生命化学科選択科目	22単位以上
他学部・他学科開講科目	
ユニバーシティ・スタンダード科目	
他大学との単位互換科目	
計	124単位以上

履修条件

第6 Semester終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

第6 Semester（3年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



 農学部教職コース履修案内
「教職課程受講ガイド」
p. 40

履修上の留意事項

- (1) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、生命化学科生が履修できない科目は次の2科目です。
「生物学入門」「化学入門」
- (2) C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.37を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。
- (3) 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、UNITAMAおよび大学7号館の掲示を十分確認してください。
- (4) 「食品加工実習Ⅱ」、「植物工場実習」、「インターンシップ」は夏期休暇等を利用して実施されます。これらの科目および「食品加工実習Ⅰ」の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席して下さい。これらの科目は希望者が多数の場合、ガイダンス出席者に対し抽選または審査を行う場合があります。「食品加工実習Ⅱ」、「植物工場実習」の履修登録・単位認定は授業後の翌学期に行い、当該学期の履修上限16単位に含まれます。
- (5) 教職関連科目群の科目は、教職課程の受講許可を受けた学生だけが履修することができます。

